試聴会・訪問記収載

オーディオセッション in Osaka 2016 報告(2015.11.13)

大阪ハイエンドオーディオショウ 2016 は 11 月 11 日から 13 日まで心斎橋ハートンホテルで、オーディオセッション in Osaka 2016 は 11 月 12 日から 13 日まで南船場ハートンホテルで開催されました。大阪ハイエンドオーディオショウには 11 月 11 日に、オーディオセッションには 11 月 13 日に行ってきました。以下はオーディオセッション in Osaka 2016 の報告です。

https://www.facebook.com/ohas.info/

https://www.facebook.com/events/1825458667686355/

出展各社のデモ内容を下記に添付します。

オーディオセッション in Osaka2016 展示

以下、ネットワークプレイヤーやフォノイコライザーなど、特に興味をもって時間を割いて聴いて回ったところを紹介します。

トップウイングではM2TECKのフォノイコライザーの EVO PHONO DAC 2 と Joplin 2 および iFI の iPhono2 のデモを行っていました。EVO PHONO DAC 2 はアナログ入力をいったん 384KHz の PCM に変換して、フォノイコライザーカーブの処理をするということのようです。iFI のレトロシリーズの真空管アンプとスピーカーが効いていて、さほど PCM 変換の違和感を感じませんでした。EVO PHONO DAC 2 と iPhono2 の聴き比べをしてみましたが、それぞれの良いところがあり、多彩なフォノイコライザーカーブに対応している EVO PHONO DAC 2 については近日発売ということで、じっくり聴く機会を持ちたいと思っています。また、一連のノイズキャンセラー製品も展示していました。iPower も発売されたようで、早速検討対象に入れたいと思

います。

IO データ機器では新製品の fidata「HFAS1-X」のデモを行っていました。

http://www.phileweb.com/news/audio/201611/11/18060.html

新製品の HFAS1-X と現行製品の HFAS1-S10 の聴き比べを行い、改善点は理解できたものの価格差ほどの効果があるかどうかは判断の難しいところです。CHORD の DAVE との組み合わせもオーディオ誌上ですこぶる評判がいいので大いに期待していましたが、すこし期待が大きすぎた感じでした。会場を一巡してみて HFAS1-X と DAVE との組み合わせは、聴いたなかでは、トップクラスの音がしていたように思います。

ESOTERIC のネットワークプレイヤーN-05 もありましたので、HFAS1-X を NAS として聴かせてもらいましたが、ESOTERIC の音が支配的で DAVE との組み合わせには及びませんでした。外部クロックの入る N-05 の音には不満が残り、DAVE には外部クロックが入らずということで、もどかしい思いでした。HFAS1-S10 も 12 月に CD 再生にも対応する予定だそうで、音楽用の USB ハブの発売も期待したいところです。マーケッティングの責任者がこられているということで、 FIDATA HFAS1-S10の導入シリーズで報告している、HFAS1-S10導入時の問題点の話をさせてもらいましたが、マニュアルの改善などは理解していただいているものの、ユーザーへの情報提供やユーザーからのフィードバックの受け止め方、ファームウエアーの更新の際の在庫品の処理など、PC周辺機器メーカーの感覚が残っていて、オーディオ愛好家の立場としては相容れないところがあり、改善の要望を伝えました。例えば、ユーザーからの質問や苦情にはすべて販売店経由とするとか、在庫品のファームウエアーのアップデートは販売店

頼みにするとか、販売店任せのところがあって、製造物責任を全うするという点では理解ができない回答がありました。

Phasemation

新製品の 300B パラシングルのパワーアンプ MA-2000 のデモを行っていました。スピーカーは TAD CE-1 でしたが、アナログの音を受けて、このスピーカーとしてはメーカーのデモでも出せていない、最上の音が出ていたように感じました。新製品のカートリッジ PP-500 も上級機種の技術を受けたもののようで、いずれじっくりと聴いてみたいと思います。

ブライトン

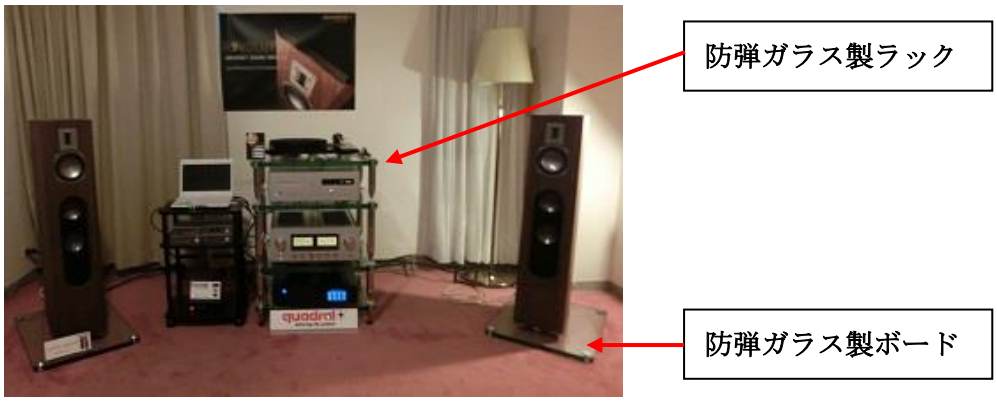
このブースでは、Roon 対応 SOtM のネットワークプレイヤーsMS-200（下掲写真右の右側機器）のデモを行っていました。価格を抑えた製品ですが、非常に多機能であり、組み合わせた NAS や DAC やアンプもそれほど高価なものを使っていないにも拘わらず、水準以上のパーフォーマンスで聴かせており、このネットワークプレイヤーには興味を惹かれました。LAN ケーブルには定評ある Telegaertoner 社製のものが使われていたのでその寄与もあったかも知れません。

DELA

新製品の HA-N1A と HA-N1Z のデモが行われており、ちょうど新旧製品の比較試聴に行き合わせましたが、音楽ソースが馴染のないものでしたので、改善点が判断できませんでした。このメーカーのデモは音源の選択や、周辺機器の選択において本来の製品のポテンシアルを発揮できていないことが多いように感じます。

ネットワークジャパン

防弾ガラス製のラックのデモが行われており、スピーカーにも防弾ガラス製のボードが敷かれていました。滲みの少ないクリアーな音がしていましたが、サイズが限られており、インシュレーターやターンテーブルなど、今後もいろいろな用途拡大が期待されます。既に防弾ガラス製のボードのみを購入して報告していますが、防弾ガラスの特性など、もっと認知度を上げる努力と製品展開の努力が必要と思います。



TEAC

Network CD Pre-main AmplifierNR-7CD という欲張ったオールインワン機器のデモが行われていました。懐かしいオープンリールデッキは飾りです。

以下は、時間の関係などでじっくり聴けなかったものについての写真のみの掲載です。

ESOTERIC

ヤマハ

テクニクス

以上